

きょうたなべ のうぎょう委員会だいく

未来のゆきひあじとー

私たちが植えなお米だよ

協力：普賢寺小学校・普賢寺幼稚園

「こうやって刈るんだよ」長靴うもれて大変だ。
10月6日、5年生と幼稚園児がしりもちいっぽいつきながら
カエルさんやねずみくんと一緒に稻刈りがんばったね。

[文：岡本校長][撮影：堀江幸和委員]

2・3 新農業委員紹介

4 巧発見！（中島さん・天王）

4・5 農業委員会活動方針

6 伝統行事「百味」「湯立」

6 家族経営協定（杉田さん・飯岡）/普賢寺ふれあいの駅夏祭り

7 新規就農者（三沼さん・大住）/全国農業新聞/農業者年金

8 農村紹介（飯岡）/男の酒肴（ナスの辛子和え）



古墳群と称されるこの地は、

休日ともなると近傍からの

散策者がよく訪っています。

地域の農地は、丘陵斜面に広がる特産のお茶畑が約20ha、山裾から平坦部には水田が約60ha、農家組合員は75軒程度で構成されており、耕作者の高齢化や後継者不足、また、出作者の耕作放棄から荒廃農地が年々増加傾向にあるなど課題は多い。そうした中、地域として取り組んでいる活動の一部をご紹介します。

農家組合の組織下に、若い手を中心とした『明日の地域農業を考える会』を発足、木津川からの揚水

の効率化や利便性を追求するべく、水利体系の見直しを実施しています。

また、任意のサークル活動には、土地柄、お茶に関する『お茶愛好会』や『茶そばクラブ』があり、お茶の楽しみに併せて情報の共有化を図りつつ、お茶の振興と育成に寄与しています。なかでも後者のクラブは荒廃地を活用し、そばの栽培を実践するなど荒廃農地解消に一役買っています。

農地を適正に管理するための地域の取り組み、これを通し近い将来それぞれの活動とその成果が、地域農業に還元されることを信じて止みません。

お酒のお供にぴったりです！
(小田博委員)

木津川左岸の丘陵地「飯岡」 田んぼに浮かぶ小島にもみえる



<材料>

ナス（親指程度の大きさのものを使用）	10 kg
塩	8 kg
ザラメ	1 kg
しょう油	800cc
みりん	4/5 カップ
辛子	お好みで

今回、表紙のタイトルなどを大きく二ユーティルしました。大人から子どもまで見ていただける広報紙を目指しました。将来の担い手が農業に夢を持ってお手伝いができるれば幸いで

（堀江幸和委員）

編集後記

STEP①

1. ナスに塩を入れ漬ける

半年から1年程度漬け置く

STEP②

1. ナスのヘタを取り半分に切る

2. 塩が完全に抜けるまで水に漬ける（3日程度）

3. ザラメ・しょう油・みりんを混ぜゆっくり溶かす

4. 2のナスを絞ったものに3を入れ、焦げ付かないように煮る

5. 食べる直前にお好みで辛子を和える

POINT

- ・ナスは収穫が終わる11月頃のものをご使用ください
- ・ザラメ・しょう油・みりんの分量は、塩抜き後絞ったナスの重さ3kgに対しての分量です

京田辺市農業委員会 新規メソバ合意決定

平成23年7月20日始動!!

号外 新規メソバ合意決定

農業委員の任期満了に伴う改選が行われ、公選委員20名、選任委員7名、合計27名の新しい委員が決まりました。任期は平成26年7月19日までの3年間で、この間、地域における農地の権利調整など、地域と行政の橋渡し役として、また、地域農業のリーダーとして日常的な活動を積極的に行っています。

会長就任にあたって

林 善嗣（山本）
今日、農業を取り巻く環境は非常に厳しく深刻な状況にあります。このような時期に大役を賜り責任の重大性を痛感しております。また、今年は、3月に東日本大震災、巨大津波、原子力発電所の事故と日本を揺るがす未曾有の災害に見舞われ、一日も早い復興と原発事故の収束を願うところで

口蹄疫、放射能と悪い現実が表面化しておりますが、地方においては、荒廃農地の解消だけでなく、地産地消と6次産業化を推進し、儲かる農業として成功した事例もあります。私たち都市周辺農家も、地の利を活かして農村ビジネスを充実させ、販売に有利な付加価値の高い特産物の開発に取り組む必要があると考えます。後継者の育成や、教育活動も大切なのは当然ですが、新鮮で安心・安全の工芸な農産物を提供するなど、直売所の充実も重要なと思いま

す。
そして、意欲ある農業の担い手が、農業者組織を作り、新規作物の導入も含め取り組み、関連企業や教育機関との連携を進めることができます。これは断固反対し、日本の農業と食の安全・安心を是非とも守っていきたいです。

最後に一言

農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。市、農業委員会、にも、市、農業委員会、支援していくべきだと思います。

新農業委員（50音順）
一言なんでも自己紹介

木村幹雄（薪）
「古稀を迎えた新人です。農地の法律手続き等に悪戦苦闘中!!」

木村照夫（出垣内）
「50年以上農業で茄子・筍・水稻の3作中心に元気で体を動かしています」

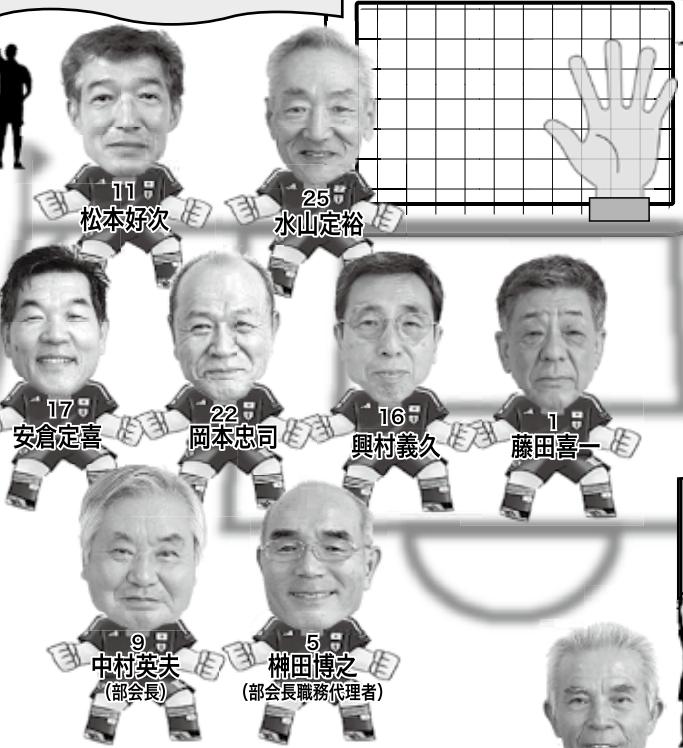
中村英夫（田辺）
「元気のある限り、農業に従事して農業の魅力を知つてもらいたいです」

中西 稔（天王）
「農業は人類の歴史であり未来産業です。後継者を皆で育てよう」

中西 淳（天王）
「農業は人類の歴史であり未来産業です。後継者を皆で育てよう」

(2)

農地部会
～農地を守るぞ！～



STOP!!
荒廃農地

儲かる農業を目指して
は、鳥インフルエンザ、

農政部会
～農業者に優しい政策を！～

若者が農業で活躍
できる環境を！
現実は、農家所得の
減少や担い手の高齢化、
後継者不足など多くの



広報アイデア委員会
～儲かる農業を目指して！～

儲かる農業へ
GOAL!!

儲かる農業を目指して
は、鳥インフルエンザ、

若者が農業で活躍
できる環境を！
現実は、農家所得の
減少や担い手の高齢化、
後継者不足など多くの

課題が山積しておりますが、今まで都市農業として代々築き上げた家族経営を、なお一層充実させることが重要だと考えます。特産物の育成や集落計画ビジョンを推進することで、田畠で汗流れる農者の姿を多く見られるよう環境づくりや仕組みを、市をあげ構築する必要があります。そのためにも、市、農業委員会、農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。

課題が山積しておりますが、今まで都市農業として代々築き上げた家族経営を、なお一層充実させることが重要だと考えます。特産物の育成や集落計画ビジョンを推進することで、田畠で汗流れる農者の姿を多く見られるよう環境づくりや仕組みを、市をあげ構築する必要があります。そのためにも、市、農業委員会、農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。

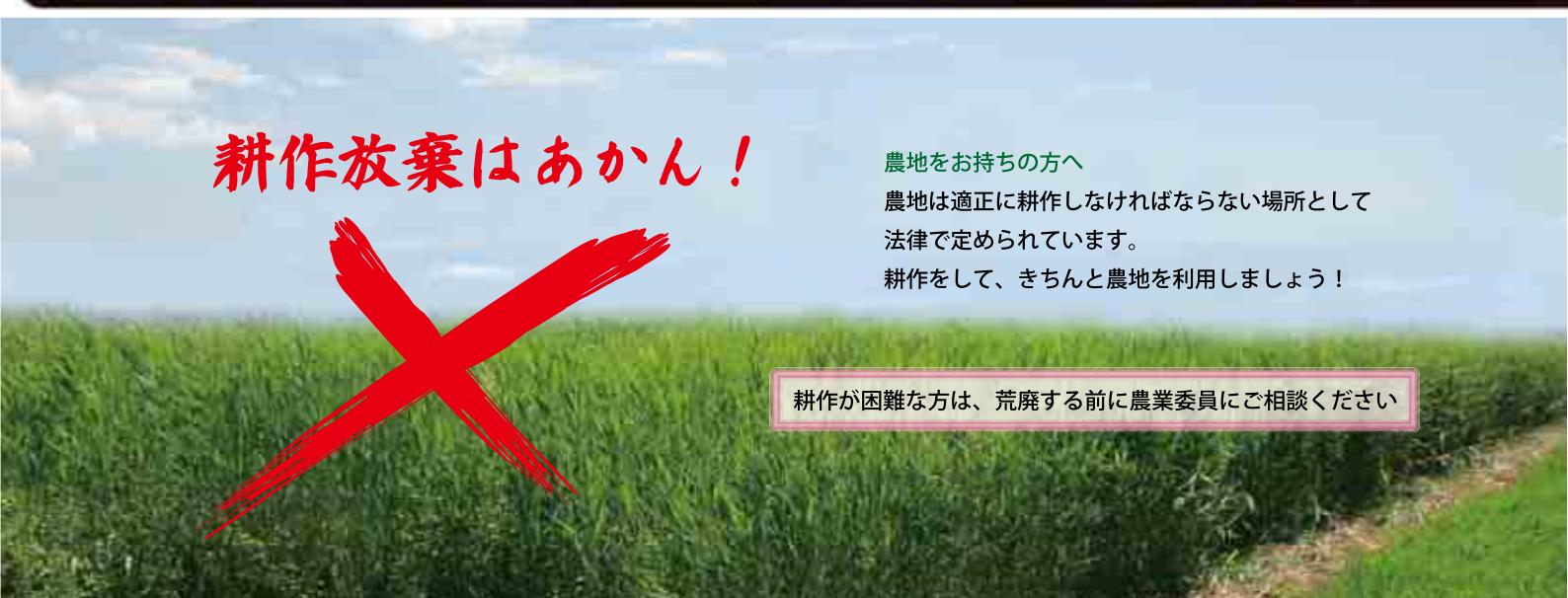
課題が山積しておりますが、今まで都市農業として代々築き上げた家族経営を、なお一層充実させることが重要だと考えます。特産物の育成や集落計画ビジョンを推進することで、田畠で汗流れる農者の姿を多く見られるよう環境づくりや仕組みを、市をあげ構築する必要があります。そのためにも、市、農業委員会、農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。

課題が山積しておりますが、今まで都市農業として代々築き上げた家族経営を、なお一層充実させることが重要だと考えます。特産物の育成や集落計画ビジョンを推進することで、田畠で汗流れる農者の姿を多く見られるよう環境づくりや仕組みを、市をあげ構築する必要があります。そのためにも、市、農業委員会、農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。

課題が山積しておりますが、今まで都市農業として代々築き上げた家族経営を、なお一層充実させることが重要だと考えます。特産物の育成や集落計画ビジョンを推進することで、田畠で汗流れる農者の姿を多く見られるよう環境づくりや仕組みを、市をあげ構築する必要があります。そのためにも、市、農業委員会、農協が三位一体となつて支援していくべきだと思います。

月 日 () 日立 はや
きた

今日、我が国の農業・農村をめぐる情勢は、食料自給率の問題、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加、グローバル化に伴う輸入農産物の増加による国際競争力の低下、またＴＰＰ（環太平洋パートナーシップ協定）問題など様々な課題に直面しています。その一方で、消費者の食の安全に対する関心や農業が持つ多面的機能への期待は高まっています。農業が国民の生活に果たす役割が大きく見直されてきています。



利用権設定 ご存知ですか？

農地の貸し借り、
安心簡単！

貸し手のメリット

- 期限がくれば必ず返還されます。
 - 離作料の支払いが不要です。
 - 不在地主でも貸すことができます

借り手のメリット

- 期限中は安心して耕作ができます。
 - 更新により継続して借りることができます

利用権設定（農用地利用集積計画）とは、農業経営基盤強化法という法律に基づく農地の貸し借りで、農業委員会の決定を経て市が公告します。農地法の許可が不要で手続きも簡単です！また、平成21年度の農地法の改正により、相続税の納税猶予の対象地でも貸せるようになりました。（旧制度で猶予を受けている人は「20年免除」から「終身利用」になりますので、ご注意ください。）

手続き方法

貸し手・借り手の話がまとまれば、農業委員会事務局に申請書（事務局にあります。）を提出してください。貸し手・借り手が見つからない場合は、地区の利用調整推進員（農業委員）にご相談ください。



注意！

次の土地、人は利用権の設定はできません。

- 市街化区域内の農地
 - 小作地
 - 売買等の登記の未登記の農地
 - 借り手の耕作面積が3反未満の人(借りる土地含む)

今回取材させて頂くにあたり、私も一緒にお手伝いすることを条件にご協力頂きました。より楽しい情報をお読者にお届けしたいとの思いから、1日2時間半、足手まといになりながらも汗水垂らして頑張り、3日目にようやく1隻完成！これでようやく取材に応じてもらえるとの安堵感と同時に、心地良い疲労感、そして達成感で一杯でした。中島さん、ご協力頂き本当にありがとうございました。



かくみ

農業専員が体を張つて突撃取材



農業をするかたわら、稻わらを用いての宝船作りをされている中島嘉久さん（天王在住・68歳）に取材させて頂きました。

こうした中でわれわれ農業委員会は、かけがえのない農地を守り、力強い農業を作る架け橋となり、優良農地の有効利用や担い手の確保を行い「地域の農地と担い手を守り活かす運動」を十分に推進しなければなりません。

の代表としての自覚と誇りを持って行動する農業委員会としての実践活動を、より一層強化しなければならないと考え、今後三年間の任期中の活動の柱となる「活動方針」を平成23年10月の農業委員会において決定し、積極的に活動を展開します。

農業者の高齢化等による労働力不足に対応するため
地域の農業者に呼びかけて話し合いの場を持ち、担
い手・後継者・新規就農者の育成や農作業受託組織
づくりに協力します。

農地行政の適正な執行を引き続いて行います。農業者を代表する機関として、農地の売買や転ついて從来と同様に、農業委員等による現地調

農地の有効利用を進めるため、遊休荒

ている農地について各地域の農業委員が所有者と話し合いの場を持ち、認定農業者等への農地の利用集積の取り組みを積極的に推進することにより、遊休荒廃農地の解消を図ります。また、農家組合や、ＪＡ京都やましろと連携して、各地域に見本田を設置し、荒廃農地解消と発生防止に取り組みます。

「広報アイデア委員会」を設置し広く意見を求め、儲かる農業を目指して、付加価値の高い農作物や、ブランド化を模索する取り組みと、安心・安全な食物

補助金の有効利用ができる環境づくりを目指します
補助金の対象となる事業を積極的に利用できる
環境づくりを目指します。

農業者の声を農業行政等に反映させるよう意見の集約等を行い、行政庁に働き掛けます。

山本の百味と湯立

「普賢寺ふれあいの駅」で
夏祭りが行われました

毎年10月に佐牙神社の山本御旅所で催される、五穀豊穣、無病息災を願う伝統行事。昆布や寒天などの「海の幸」、原則地元で採取された穀物や豆類、果物などの「山の幸」が神前に供えられる。

特筆すべきは、その数であり、100種類以上の「百味」が献上される。中には、南国のイメージがあるドラゴンフルーツやゴーヤもみられる。

品揃え豊富な 八百屋さん？！

実は…神様へのお供え物です。

「湯立」は、午後7時に御旅所前で行われる。神水をはった大きな釜を沸騰させ、中に神酒、塩、米を入れる。神官がその神湯を神前に献上すると、鐘と太鼓に合わせて巫女が剣の舞の神樂を踊る。その後、煮立った釜の湯を神籠ですくい、集まつた人々に振りかけて無病息災を願う。特に、子供が煮え湯にかかると学問がよくできるようになると言ういわれがあり、前例には多くの子ども達が御利益を求め集まっている。

(林善嗣委員)



家族経営協定を締結しました！

平成23年9月27日、林会長を立会人として、飯岡の杉田充さん・智恵美さんご夫妻と、お母様の厚子さんの3名が経営方針や役割分担などを取り決めた家族経営協定を締結されました。

今まで以上に家族一丸となって、農業経営に励まれるとのことでの身を引き締められていきました。

締結の主なメリット
①やる気と責任が生まれ、経営の発展につながります。
②農業者年金の保険料について、条件によつては国からの助成を受けられます。



絶対に負けられない
戦いがそこにはある！



8月24日、市最大の農産物直売所「普賢寺ふれあいの駅」で夏祭りが開催されました。雨に降られながらの夏祭りでしたが、子どもさん達の参加も多く、金魚すくいやカラオケなど大いに盛り上がりました！来年もご参加お待ちしております。

(山下明子委員)

私が農業を志したのは、今から4年ほど前です。当時、東京で金融関係のサラリーマンをしており、「ものづくり」に対する漠然とした憧れを持っていました。ある時、大学時代の友人に「これからは農業が熱い」という話を聞き、そして、自分で調べるうちに、農業へのめり込んでしまいました。目の前の植物に対して実直に向き合い、毎日の積み重ねにより結果を出す働き方に憧れ、また、自分が金融で学んだ事を農業に生かす事が出来るのではないかと思い、脱サラしました。

脱サラ後、私は山梨県の農業法人で2年間農業を学びました。その法人は日本全国から農業に興味のある若者を短期研修生として、年間数百人受け入れを行っていました。皆、農業に対して熱意を持っていますが、将来どうやって農業に携わっていくべきよ



今年山梨県から京田辺市に移り住み、
新規就農を果たされた三沼亮士さん
(30)に投稿いただきました。

先輩農家の皆様に日々感謝です。

魅力いっぱい全国農業新聞

全国農業新聞には様々な農業に関する情報が満載です。

農業委員になって購読するようになり、情報量の豊富さに驚いています。地震の爪痕は深く、毎号、地震、放射能関連の記事が目立ちます。特に東北の農業は未だかつてないほど窮屈に立たされています。遅い国の対応に振り回されている生産者は、さぞかし苦しい思いをしていることでしょう。今こそ日本人が一丸となって、被災地の復興と、農業の再生を全力で支援すべきときであると思います。全国農業新聞は、一般紙に載ってない最新の農業情勢を伝えてくれるので、農業者としてとても役立っています。

お申込みは農業委員会事務局まで！ 每週金曜日発行 購読料：月600円
(香村保彦委員)

魅力いっぱい農業者年金

農業者の皆さん、老後の備えは大丈夫でしょうか？

そんな思いから私は、まず最初に息子に加入を勧めました。国民年金だけでは、とても将来が不安です。何かプラスαあれば。そこで公的年金である農業者年金と出会いました。

<メリット>

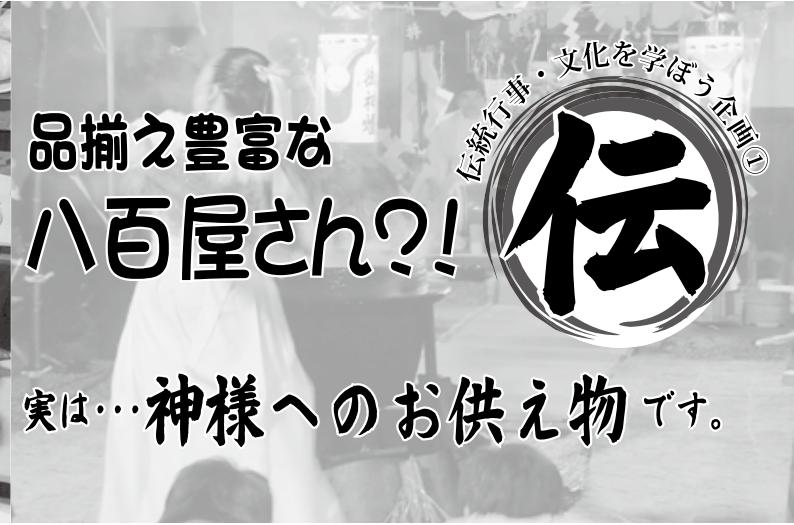
- ①積み立て方式で支払った保険料は将来年金として受け取れる。
- ②支払った保険料は全額控除の対象（節税の効果！）
- ③頑張る手には国からの補助が。

若い間は保険料を掛けるのが大変だと思いますが、思い切って加入することをお勧めします。自分の老後は自分で計画を立てて支えてください。

お申込みは農業委員会事務局まで！ (森田典子委員)

Q 農地を相続したのですが、手続き必要ですか？

⑦ A 農業委員会に届出が必要です。耕作困難な場合はご相談を！



文化を学ぼう企画①

伝

「普賢寺ふれあいの駅」で
夏祭りが行われました

⑥